

(表)

様式第3 (第12条第1項関係)

年 月 日			
(あて先) 東大阪市長			
住 所			
氏 名 ①			
(電話)			
指 定 工 場 等 変 更 許 可 申 請 書			
東大阪市生活環境保全等に関する条例第31条第1項の規定により、許可を受けたいので、関係書類を添えて、次のとおり申請します。			
指定工場等	許可番号 年 月 日	第 号	年 月 日
	名 称		
	所 在 地	東大阪市	
用 途 地 域		排 水 等	<input type="checkbox"/> 公共下水道 <input type="checkbox"/> その他 ()
業 種			
主 要 生 産 品 目			
資 本 金	円	作 業 時 間	時 分 から 時 分 まで
自動車の出入口が接する道路の幅員	m	50メートル以内の学校・病院の所在の有無	有 () ・ 無
従 業 員 数	人	公害防止担当部課名 (責任者氏名)	()
工事着工予定日		工事完成予定日	
※許可申請手数料欄	申請1件につき……………1,000円 特定施設1件につき1,000円× 件= 円		合計 円
申 請 書 取 扱 者	住 所	電話番号 (担当)	
	氏 名		

備考 1 ※印の欄には記入しないこと。

2 「用途地域」とは、都市計画法第8条第1項第1号の規定による「用途地域」をいう。

3 「業種」欄には、日本標準産業分類のうち、中分類に該当する業種又はこれに準ずる業種を記入すること。

4 「公害防止担当部課名」欄の「(責任者氏名)」には、公害防止管理者を置いている工場にあっては、公害防止管理者の氏名を記入すること。

(裏)

変更事項*		敷地又は建物の状況		特定施設	作業工程	公害防止の方法		作業時間
敷地又は建物の状況		変更前			変更後			
	敷地面積	m ²			m ²			
	番号							
	用途							
	階数							
	構造							
	建築面積	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²
	床面積	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²
面積	作業場面積	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	
変更施設	新設・廃止 変更・移設等							
	施設番号							
	種類							
	公称能力							
	動力(kw)							
	台数							
	構造・配置・ 作業の種類及び 方法・公害防止の方法							
総排水量	変更前	m ³ /日			変更後	m ³ /日		
作業の工程・公害 防止の方法・作業 時間の変更の概要	変更前				変更後			

* 「変更事項」欄は、該当するものを○で囲むこと。

施 設							
	工場等における施設番号						
	種 類						
	公 称 能 力						
	動 力 (k w)						
	台 数						
	構造・配置・作業 の種類及び方法 公害防止の方法						

施 設							
	工場等における施設番号						
	種 類						
	公 称 能 力						
	動 力 (k w)						
	台 数						
	構造・配置・作業 の種類及び方法 公害防止の方法						

施 設							
	工場等における施設番号						
	種 類						
	公 称 能 力						
	動 力 (k w)						
	台 数						
	構造・配置・作業 の種類及び方法 公害防止の方法						

騒音又は振動発生施設

騒音振動関係別紙（１）

施 設 番 号						
種 類						
型 式						
動 力						
台 数						
使用開始予定年月日						
使 用 状 況	時～ 時 回/日	時～ 時 回/日	時～ 時 回/日	時～ 時 回/日	時～ 時 回/日	時～ 時 回/日
使 用 材 料						
騒音レベル(デシベル)						
振動レベル(デシベル)						

「騒音又は振動防止の方法」

- 備考 1. 「騒音又は振動防止の方法」の欄には消音器、吊り基礎、遮音塀等、騒音又は振動の防止に関して講ずる措置を記入のこと。できる限り図面、表等を利用すること。
2. 騒音レベル、振動レベルは原則として施設より1mの地点の最大値とする。

その他の騒音又は振動発生施設

騒音振動関係別紙（２）

(Ⅰ) 倉庫	施設番号					
	面積					
	収容内容					
	使用状況	使用時間	時～ 時	時～ 時	時～ 時	時～ 時
		出入回数等	回/日	回/日	回/日	回/日
(Ⅱ) 材料置場	施設番号					
	面積					
	収容内容					
	使用状況	使用時間	時～ 時	時～ 時	時～ 時	時～ 時
		出入回数等	回/日	回/日	回/日	回/日
(Ⅲ) 自動車駐車場	施設番号					
	面積					
	収容台数					
	使用状況	使用時間	時～ 時	時～ 時	時～ 時	時～ 時
		出入回数等	回/日	回/日	回/日	回/日
「騒音又は振動防止の方法」						
備考 「騒音又は振動防止の方法」欄には騒音又は振動の防止に関して講ずる措置を記入のこと。できる限り、図面、表等を利用すること。						

(大気別紙1)

特定施設 の構造・ 規模	施設番号					
	名称及び型式					
	設置年月日		年 月 日	年 月 日	年 月 日	
	着手(予定)年月日		年 月 日	年 月 日	年 月 日	
	伝熱又は火格子又は羽口断面積(m ²)					
	燃料の燃焼能力(重油換算 ℓ/時)					
	原料処理能力又は燃焼能力(kg/時)					
	変圧器又は原動機の定格能力(Kw)					
使用 及び 管理 の 方 法	使用状況:使用時間 季節変動等		: ~ :	: ~ :	: ~ :	
			時間/回	回/日	時間/回	
			回/日	回/日	回/日	
	原 材 料	種 類				
		原料中の成分割合 (%)				
		沸点又は5%留出点(°C)				
		最大溶剤含有率 (%)				
		1日の使用量				
	製 造 後 の 物 質	種 類				
		生 成 割 合				
		沸点又は5%留出点(°C)				
	燃 料 又 は 電 力	種 類 及 び 比 重				
		燃料中の成分割合 (%)				
		発熱量(kcal/kg, Nm ³)				
通常使用量(ℓ/時, Nm ³ /時, Kw/時)						
排出ガス量(Nm ³ /時)		湿り				
		乾き				
排出ガス中の酸素濃度 (%)						

洗濯業のドライクリー ニングの洗濯能力	洗浄剤の種類	石油系溶剤	テトラクロエチレン	合計
	洗濯能力(kg/回)			

燃料小売業のガソリン用 地下タンク (仕切がある場合は部分/全体で)	地下タンクの番号					合計
	容量(kℓ)					

(大気別紙2)

ばい煙又は粉じんの処理の方法	処理施設の番号					
	処理に係る特定施設等の番号					
	処理施設の名称及び型式					
	設置(着手・変更)(予定)年月日		年 月 日	年 月 日	年 月 日	
	圧力損失及び使用水量					
	風量又は排出ガス量 (Nm ³ /時)					
	排出ガス温度 (°C)					
	ばい煙等の濃度	ばいじん g/Nm ³	処理前	(O ₂ = %)	(O ₂ = %)	(O ₂ = %)
			処理後	(O ₂ = %)	(O ₂ = %)	(O ₂ = %)
			処理効率			
		窒素酸化物 ppm	処理前	(O ₂ = %)	(O ₂ = %)	(O ₂ = %)
			処理後	(O ₂ = %)	(O ₂ = %)	(O ₂ = %)
			処理効率			
			処理前			
			処理後			
処理効率						
		処理前				
		処理後				
		処理効率				
ばい煙量	硫黄酸化物 Nm ³ /時	処理前				
		処理後				
排出口の実高さ H o		m	m	m		
頂上の形状, 口径 D		m	m	m		
陣笠の有無		有 無	有 無	有 無		
排出口の中心からその至近距離にある敷地境界線までの水平距離 (m)		m	m	m		
その他の防止の方法						
排出口中心から至近距離にある他人の所有する建築物の実高さ h(m)及び水平距離 d (m)		h = m d = m	h = m d = m	h = m d = m		
ばい煙測定口の有無及び口径		有(D = mm) 無	有(D = mm) 無	有(D = mm) 無		

添付書類	I 申請に係る特定施設等の配置図、構造概要図 ①主要寸法を明記したもの ②液体燃料は採取場所を明示したもの
	II フード等の構造概要図 ①主要寸法を明記したもの ②特定施設との関連が明らかなもの
	III ばい煙、粉じんの処理施設の構造概要図 ①主要寸法を明記したもの ②排出濃度測定口位置を明示したもの ③仕様書等により性能を明らかにしたもの
	IV ばい煙、粉じんの濃度測定データ (記入数値の根拠)
	V 燃料の成分表
	VI 原材料の成分表

(水質別紙1)

特 定 施 設 の 構 造	施 設 の 名 称			
	事業場内の施設番号			
	型 式			
	構 造			
	主 要 寸 法			
	能 力			
	着 工(予定)年月日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
	完 成(予定)年月日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
	使用開始(予定)年月日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
使 用 の 方 法	1 日 の 使 用 時 間	時から 時まで	時から 時まで	時から 時まで
	季 節 変 動	有 無	有 無	有 無
	原材料の種類・使用 方法及び1日あたり の使用量			
	廃 液 の 分 離 方 法			
	使用時の汚水量及び 水質	別図 のとおり	別図 のとおり	別図 のとおり
	そ の 他			

備考

1. 施設の図面には、主要寸法・能力を明記すること。
2. 作業工程図には、使用時の汚水量及び水質・使用薬品の量をかねて記入してもよい。
3. 施設の配置図には、施設番号を明記すること。

(水質別紙2)

汚水等の処理の方法	処理施設の名称											
	設置(変更)年月日			年 月 日								
	汚水処理施設の種類、形式、構造、能力及び処理の方法											
	汚水処理施設の使用時間			時から 時まで								
	汚水等の処理に要する消耗資材の1日あたり用途別使用											
	残査の量及びその処理方法											
	公共用水域への排出方法											
	その他											
排水の汚染状態及び量	排水口		排水量 m ³ /日	項 目								備考
				pH								
	排水の汚染状態及び量	変更前	平均									
			最大									
		変更後	平均									
			最大									
	排水の汚染状態及び量	変更前	平均									
			最大									
		変更後	平均									
			最大									
	排水の汚染状態及び量	変更前	平均									
			最大									
		変更後	平均									
			最大									
	排水の汚染状態及び量	変更前	平均									
			最大									
変更後		平均										
		最大										

備考

1. 用排水系統図には、汚水の集水及び導水方法・処理前後の水量及び水質を明記すること。
2. 汚水処理施設の構造概要図には、測定データ・主要寸法を明記すること。

(水質別紙3)

耐 酸 施 工 法 に つ い て	着工予定年月日		年	月	日	
	完成予定年月日		年	月	日	
	施 工 面 積		m ²			
	基礎工事の有無		有 無 (無の場合の理由)			
	基礎表面材質					
	ラ イ ニ ン グ	ライニング主材料				
		主材料の品質				
		硬化剤の名称				
		副資材の名称				
		ライニングの厚み				
その他の耐酸施工について 参考となるべき事項						
備 考						

備考

1. 施工部分の平面・断面図には、厚み・構造・寸法を明記すること。